

猶予期間10日?! Performance Insight for Oracle の評価レポートから適切なチューニング

A社では月初に請求承認処理を集中して行っていたが、5月初、6月初とその処理スピードが遅くなり、7月1日にはアプリケーションが反応しなくなった。締め日に使用できなくなるという事態の再発は、担当部長の進退問題に関わるほど深刻であり、10日間という限られた時間の中でのチューニングを強いられた。しかし幸運にもA社は既に2年前からPerformance Insight for Oracleのユーザーであり、運用形態が変更したときの評価レポートが出力されていたので、すぐにCPUに問題があることが判明。8月1日の処理集中時期に間に合うよう無事改善された。

```
SELECT
COUNT(DISTINCT A.CYUMON_ID)
FROM
KENSHU A, TCB_KENSHU B
WHERE
B.CYUMON_ID = A.CYUMON_ID
AND A.KBN_CD_4 = 'S'
AND A.USER_ID in ('4416')
AND A.DATE = '02/06/01'
AND A.KBN_CD_1 != 'T26'
AND ((A.KBN_CD_2 = 'T27')
OR (A.KBN_CD_3 != 'T27'
AND B.KBN_CD_3 != 'T26'))
```

前月の承認処理の際にログを取得していたので、全件検索を実行して、かつ実行回数の多いSQLをすぐにはじきだすことが可能であった!!

●適切なINDEXを作成

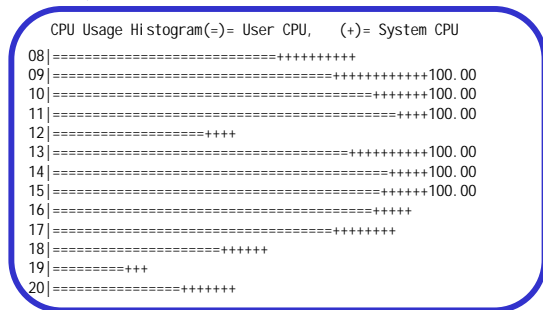
```
create index IDX_TCB_KENSHU
on TCB_KENSHU(CYUMON_ID)
```

CPU使用時間 5.7秒
SQL実行時間 10.5秒

快速チューニング!!

0.2秒
0.2秒

7月1日



8月1日

